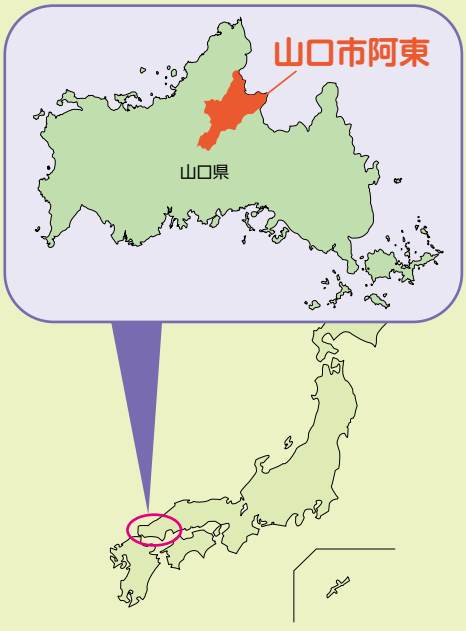
山口市阿東で トマトを 一緒につくりませんか！？

新規就農者
随時募集中!!



農業を新たに始める方を
山口市は **“パッケージ支援制度”** で応援します!!

山口あぶトマトとは

山口県の北東部、標高300～500ｍに位置する阿東地区では、夏季の涼しい気候を活かし、昭和50年代からトマト栽培が開始されました。

その後、正式にトマト部会が設立、共同選果・共同販売が実施され、平成17年には、隣接する萩市むつみ地区と産地を統合し、「山口あぶトマト」のブランドとしての出荷が開始されました。

現在は、中国地方最大級の夏秋トマト産地として、部会員が一丸となって生産しており、山口県内と福岡県へ出荷をしています。また､産地の近くに県内のトマト産地で唯一選果場が整備されているため、生産者は栽培に専念し、安心してトマトを作ることができます。

「山口市阿東」で就農する4つの強み

1 ブランド力を活かした安定経営が可能

「山口あぶトマト」のブランドを活かして、山口県内のほか、福岡県でも高単価で出荷されるため、安定した経営を行うことができます。

2 選果場が近くにあり、生産に集中できる

トマトの選果場が産地の近くにあり、サイズの選別や箱詰め等の出荷に関する作業を選果場に任せることができるため、夏から秋にかけての農繁期において、収穫作業などの生産の仕事に専念できる環境にあるのも魅力のひとつです。

3 1年間の研修期間で就農できる

山口あぶトマト部会（農家さんのグループ）では、新規就農者を全面的にバックアップする体制を整えており、通常2年程度かかる農業研修の期間を1年で修了し、就農することが可能です。

4 関係機関によるサポート体制の充実

山口市、山口県（農林水産事務所）、JA等が連携し、就農前から就農後も技術面、生活面を全面的にサポートし、新規就農者が安心して生産・経営ができるようにバックアップしていきます。

山口あぶトマト選果場▼

トマト農家の仕事

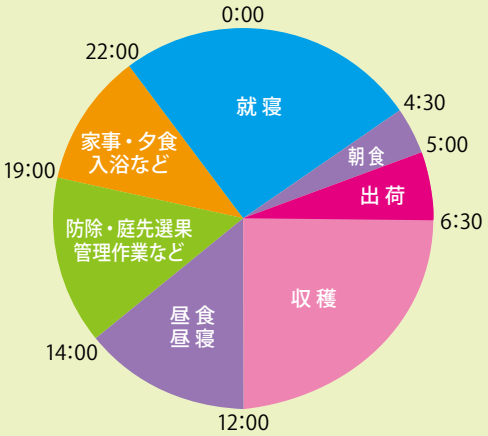
山口市阿東のトマト農家の仕事は、大型機械の操作や極端な力仕事は少ないですが、常にトマトと向き合いながらの細かな栽培管理が求められます。

７～８月は出荷量が一番多い時期であり、栽培管理作業も並行して行うため、夜明けとともに仕事に取りかかります。

11月半ばにすべての出荷が終了し、後片付けや翌年の栽培に向けた準備を行います。

冬の間は天候により除雪の必要な時もありますが、ハウス内作業は少ないため、旅行を楽しんだり、他の作物に挑戦したりするなど、自由な時間を多く持つことができます。

農繁期の一日（例）



年間作業スケジュール

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作業	ハウス等施設整備		播種		定植	潅水・誘引き等管理作業						後片づけ
			ほ場準備				収穫					

新規就農プラン

経営状況（例）

○栽培面積　30ａ程度
○労働力　　２名（ご夫婦での就農を想定）

出荷量		33,000kg
販売単価		285円/kg
粗収益		9,410,000円
経費	種苗費	210,000円
	肥料費	600,000円
	農薬費	230,000円
	諸材料費	400,000円
	賃借料	850,000円
	原価償却費	150,000円
	出荷経費	3,530,000円
	その他経費	200,000円
所得		3,240,000円

必要となる施設・機械（例）

施設・機械名	使用用途
パイプハウス	育苗・栽培用ハウス
潅水ポンプ・液肥混入器	栽培中の潅水・追肥に使用
トラクター	耕うん
軽トラック	出荷、資材運搬等
管理機	畝立て
動力噴霧器	農薬等の散布
草刈機	ハウス周辺の草刈

＜山口市で就農するまでの支援ポイント＞

① 関係団体が一体となって支援します。

② 就農後も経営が軌道に乗るまで支援します。

③ 住まい・暮らしのこともトータルでサポートします。

山口市では、栽培技術の習得・農地の確保・資金など新規就農者をとりまく多くの課題に対し、多方面から総合的にサポートする「パッケージ」で支援します。

新規就農者へのサポート体制

山口市では、トマト栽培を通じて夢を叶えたい新規就農者に対し、市、農林水産事務所、JA、部会等の関係機関が一丸となってサポートする体制を構築しており、分からないことや不安に思うことをすぐに相談できるよう新規就農者をバックアップしますので、未経験でも安心して就農することができます。

山口市
研修、住宅確保、施設、機械整備支援等の総合窓口

やまぐち農林振興公社
新規就農に関する相談、農地のあっせん

山口県（農林水産事務所）
就農計画策定支援、安定生産、経営に向けた栽培技術指導

新規就農者

山口市農業委員会
農地のあっせん

JA 山口県
生産物の集荷・選果・販売支援、施設・機械整備等における資金面での協力、部会との連携

山口あぶトマト部会（阿東支部）
農地・住宅確保の支援、新規就農者の技術・生活面での相談

就農までのプロセス

山口市では、就農を希望される方が就農相談からスムーズに就農開始ができるよう、一貫した支援を行なっています。

1.就農相談

まずは山口市農林政策課にお問い合わせください。
各地で新規就農相談会や産地を巡るバスツアー等も行っていますので、
ぜひご参加ください。

2.農業体験

「おためし農業体験」により、実際に現地にお越しいただき、山口市での就農や自分が農業に向いているのか等を試してみることができます。

3.面談・研修先決定

就農する気持ちが固まったら、その熱意、自己資金等について関係機関による面談で確認をさせていただきます。

4.住宅の確保

研修及び就農する際に必要な住宅の確保についても、関係機関が一体となってサポートします。

5.実践研修（原則1年間）、農地の確保

先輩農家さんのもとで、基礎から農業をするための研修を受けていただき、栽培技術、経営のノウハウを学びます。併せて、就農後の作付計画、販売目標などを記載した「青年等就農計画」を作成し、農地の確保も行います。

6.就農開始

いよいよ就農開始です。就農後も経営が安定するまでは関係機関が一体となってサポートします。

就農を目指す方への主な支援策

①体験等に関する支援

・おためし農業体験（半日～3日間程度）

山口市阿東の生産者さんのほ場で農業体験をすることができます。
※山口県外に在住の方については交通費・宿泊費の補助制度があります。

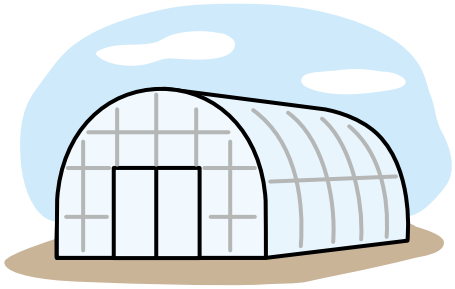
・現地就農体験（1～6か月）

山口県外からの就農・移住を考えておられる方で、現地で1か月以上6か月以内の農業体験を実施される方に対し、**月額12万5千円**を補助します。

②就農研修に関する支援

・農業次世代人材投資資金（準備型）

就農に向けて必要な技術等を習得するために研修を受ける者で、就農予定時の年齢が50歳未満の者に対し、研修期間**1年あたり150万円**を交付します。
（交付対象となる研修期間は最長2年間）



③農業経営開始後の支援

・農業次世代人材投資資金（経営開始型）

次世代を担う農業者となることを目指し、独立・自営就農する者で、就農時の年齢が50歳未満の認定新規就農者に対し、経営開始1～3年目は**年間150万円**、経営開始4～5年目は**年間120万円**を交付します。

・施設・機械器具の購入補助

就農3年以内の新規就農者に対し、就農に必要な小規模の施設・機械器具について、事業費の**2分の1**以内**（上限50万円）**を補助します。
※対象者と事業主体（ＪＡ又は農業公社等）とのリース契約を締結した施設・機械器具が対象となります。

・農地借地料の負担補助

就農時に農地中間管理事業を活用して借り受けた農地に対する賃借料について、契約期間の初めの2分の1の期間（最長5年間）を無償となるよう補助します。

・青年等就農資金

認定新規就農者が、施設機械等の取得・賃借、運転資金などに利用できる資金融資があります。（融資限度額：3700万円）

④住宅・移住に関する支援

・定住支援（家賃補助）

新規就農者で農業開始後、一定期間の家賃について、**2分の1**以内**（上限月額3万円）**を補助します。

・空き家バンクの活用

山口市移住情報サイト「すむ住む山口」にて随時空き家に関する情報を掲載しています。

「すむ住む山口」検索

※上記の支援・補助制度等については給付要件があります。また、上記以外にも様々な支援があります。
詳しくは農林政策課までお問い合わせください。

阿東で活躍されている山口あぶトマトの生産者さんを紹介します

長安（ながやす） 卓也（たくや） さん（平成31年就農）

阿東で就農した経緯

農業系の大学を卒業後、10年ほど育苗会社で野菜や花の苗作りに携わっていましたが、地元である阿東に戻り、阿東で歴史のある夏秋トマトで就農することを決意しました。

阿東で就農してよかったところ

研修先の農家さんや地域の農家さんから、研修が終わった後も引き続きサポートやアドバイスを受けることができたので、１年目は目標反収の96％を達成することができました。２年目は長雨が続くなど、トマトに病気ができやすい状況にはありましたが、産地全体がオープンな雰囲気であるため、対策を気軽に相談することができ、目標反収を大きく上回ることができました。

農業をする上で必要なことは？

トマトは収穫までに時間や手間のかかる作目のため、物事を長期的に捉える心構えやトマトの成長を観察して判断できる思考力も必要だと思います。

福隅（ふくすみ） 大五郎（だいごろう） さん（令和２年就農）

阿東で就農した経緯

就農するにあたり、行政機関などに相談し、トマトの他にもイチゴや露地野菜を紹介していただきましたが、選果場が近くにあることや安定した収入が期待できることが決め手となり、阿東でのトマト栽培を挑戦することを決めました。

阿東で就農してよかったところ

先輩農家さんが気にかけてほ場の様子を見に来てくださるなど、いつでも相談しやすい環境にあり、就農１年目でも安心して農業を行うことができます。また、地域外から阿東に移住しましたが、生活の面でも地域の方が声をかけてくれることは農業を行う上でも心強いです。

新規就農を目指す方に一言

阿東は新たに農業を始める方にも優しい人が多く、農業を始めやすい環境にあると思います。一緒に山口あぶトマトの産地を盛り上げましょう！

山口市が求める新規就農者

1 経営者としての自覚を持てる方

新規就農とは自ら起業して農業を始めることを言います。つまり、トマトを育てる仕事のほかに、経営者としての仕事もこなしていかなければならないということです。雇われる立場のように、毎月決まった収入が得られるわけではありません。新規就農は魅力的である反面、自らが経営者であるという自覚を持つことが不可欠となります。

2 夏の暑さに耐えられることができ、心身ともに健康である方

山口市阿東でのトマト生産は蒸し暑いハウス内での作業が多く、夏の繁忙期には長時間作業することとなるため、暑さに耐えられる十分な体力が必要です。また、時に風水害や冷害、病害虫の発生等、予期しない事態が起こりますので、粘り強い精神力も必要です。

3 就農するために必要な自己資金を準備できる方

研修中の期間は無給となることに加え、ハウスの建設や機械の購入のための初期投資がかかります。このため、トマトで農業を始める際には、様々な制度資金を活用したとしても、200万円程度の資金を準備しておく必要があります。

4 地域活動・生産者部会の活動に積極的に参加できる方

農業をするには周囲の協力が不可欠であり、先輩農家さんや地域の方との人間関係づくりが欠かせません。生産者の集まりに参加したり、地域行事などに協力したりするなど、地域に溶け込む努力が必要となります。

山口市阿東へのアクセス・周辺情報

【阿東徳佐までの所要時間】

新幹線

東　京～新山口　約4時間20分
新大阪～新山口　約2時間

飛行機

羽　　田～山口宇部　　約1時間30分
山口宇部～新山口(バス)　35分

車

新山口駅～阿東徳佐
車で約90分

【生活環境（阿東地域全体）】

子育て・教育

保育園4園、小学校3校、
中学校2校、高等学校(分校) 1校

医療

病院5か所(うち小児科2か所)

その他

スーパー、ドラッグストア、家電量販店、
コンビニが各1件、ホームセンターが2件あります。

お問い合わせ先

山口市農林政策課　農業振興担当
〒753－8650　山口県山口市亀山町2番1号
電話 083－934－2946　E-mail　n-seisaku@city.yamaguchi.lg.jp